

鹿児島県立錦江湾高等学校図書部だより

まほら

2023.05 No. 2

Meet by fate

～ページを開こう～

錦江祭の出し物

- ・先生 & 図書部部員によるポップの展示
- ・隠された本を探せ！まほら館全域で本探し

隠された本を探せ！

まほら館全域で宝探し

先生 & 図書部員による

ポップの展示

くじに書かれたヒントを頼りに
隠された本を見つけ出せ！

ヒントは、表紙、作者名、ラベル番号の
この3つだ！

無事見つけることができた人には、
プレゼントを用意しています！

図書部員の描いたポップも展示しています。
先生方のついででも良いので是非見てください！



みんなの知っている先生や、ふだん
接点のない先生が紹介する本をぜひ、
ご覧ください！
先生が書いた紹介文を読んで、自分の
気になる本を探しましょう！
読んだ本が面白かった、読んでみて良
かったと感じた人は、紹介してくださ
った先生に感想を教えてください。

錦江湾高校推薦図書 2023

『錦江湾高校推薦図書』とは、先生方が選ぶ高校生みなさんに読んでほしい本です。
今年度も、『錦江湾高校推薦図書』を先生方の紹介文とともに錦江祭にて展示します。
先生方が紹介された様々なジャンルの本をぜひこの機会に手に取ってみませんか？



大野教頭先生

世界のエリートがやっている

最高の休息法

著者 久賀谷 亮
出版社 ダイヤモンド社



脳の休め方

“何もしないのに、なぜか疲れがとれない” そんな経験はありませんか？

休んでいるつもりでも、脳は休んでいないのです。

脳に休息を与えたいあなたへ!!



国語科 下池先生

奇跡のバックホーム

著者 横田 慎太郎
出版社 幻冬舎



野球をしている人間の中でも、ほんの一人握りしか辿り着けない世界のプロ野球。鳴り物入りで注目された筆者はある日突然の病に侵される。しかし、好きな野球のために努力を続けた筆者が起こした“奇跡”とは…？筆者は私の小中の先輩です。今でも鹿児島を歩けば会える…？



家庭科 永田先生

あなたの脳のしつけ方

著者 中野 信子
出版社 青春出版社



感情がともなうと脳が「これは生きるために必要な情報だ」と判断して記憶しやすいなど脳科学者ならではの記憶力、集中力のコツが書いてあります。

すぐ読めるのでやってみてはいかが？



保健体育科 石田尾先生

一切れのパン

著者 フランチスク・ムンティアヌ
出版社 ポプラ社 筑摩書房

「人を信じる事の大切さや、どんな環境下に置かれようとも希望があれば生きてゆける。」

そういったことを教えてくれた物語でした。

ラストも衝撃的でした。

錦江湾高校推薦図書 2023

2023 国語科 山下先生

生物と無生物のあいだ

著者 福岡 伸一
出版社 講談社



とにかく文章が美しい。
分子生物学者である著者がニューヨーク・マンハッタンにあるロックフェラー研究所で研究者として過ごしていた頃の回想や、そこにゆかりのある研究者たちの足跡をエッセイとして書いている。言葉の選び方が的確で、場面が目に浮かぶようだ。新書なのに良質の小説を読んだ気にさせられた。

2023 数学科 矢崎先生

文系の私に超わかりやすく

統計学を教えてください！

著者 高橋 信
聞き手 郷 和貴
出版社 かんき出版



高校で学ぶ数学の「データ分析」や情報の「データサイエンス」は、文系理系を問わない学問として現在トレンドである。
この本では、統計学とは、どのようなものなのかを対話形式で説明しているので、読みやすく、わかりやすい。あっという間に読むことができます。

2023 数学科 源川先生

ざんねないきもの事典

監修 今泉 忠明
絵 下間 文恵 徳永 明子
かわむら ふゆみ
出版社 高橋書店



生き物が進化の過程で身に付けたユニークな特性が満載である。人間の視点からすると残念なのかもしれないが、何故その様な特性を得たのかを調べると奥が深そうだ。

2023 理科 小溝先生

ジェノサイド

著者 高野 和明
出版社 角川書店



壮大な映画を見終わった後のような読了感。「アバター」にも匹敵するのでは？
映画化はまだかな。

2023 理科 北迫先生

なぜ、あなたの話はつまらないのか？

著者 美濃部 達宏
出版社 あさ出版



僕たちが暮らしていくうえで、コミュニケーションから逃れることはほぼ不可能ですよ。
色々なコミュニケーションスキル本がありますが、この本は、「こういう手順で話を構成すれば、同じ話でも面白さが変わる」と、わかりやすくまとめられていて参考になりました。

2023 地歴公民科 松井先生

沈黙

著者 遠藤 周作
出版社 新潮社



この本のセリフで「強い者も弱い者もないのだ。強い者より弱い者が苦しまなかったと誰が断言できよう」という言葉があり、人生の辛い時に思い出すことがあります。
世の中には、神様はいるのか？と思えるような、理不尽なことがたくさんあります。(例 ウクライナ)辛い時の支えとなる本を生徒のみなさんが、何か持ってくれればと思います。

2023 国語科 平山先生

月刊文芸誌「文藝春秋」

著者
出版社 文藝春秋

私が中学校を卒業する時に、中学時代の国語科の先生から、「高校生になったら、読みなさい」と言われた文芸雑誌です。「こんな本は真面目に机に向かって読むんじゃなくて、寝転がって読めばいいからね」とも言われました。短編でいろいろな種類のものが読めて、タイパ(タイムパフォーマンス)の良さを求める現代の若者、君たちにもなかなかオススメです。

2023 英語科 山内先生

しゃげけ

著者 畠中 恵
出版社 新潮社



若だんなど妖たちの愉快なほのぼのした物語。たまにどきどきすることも…。
「しゃげけ」シリーズはたくさん本が出ています。長編もありますが、多くは短編集となっているので、短時間で読むことができます。妖たちの姿にほっこりしてください！

7月は『新書を読もう』旬間があります。先生方おすすめの新書を読んでみては？